

報道関係者各位

2016年5月10日  
株式会社リンクアンドモチベーション

## 書籍 「一場が変わり、人がいきいき動き出す－研修・ファシリテーションの技術」増刷決定

この度、社員総会や企業 PR、採用、販促などの企業イベントをワンストップで支援する、株式会社リンクイベントプロデュース(代表取締役社長:八重樫徹、東京都中央区)のファシリテーター、広江朋紀による書籍「一場が変わり、人がいきいき動き出す－研修・ファシリテーションの技術」(同文館出版)の増刷が決定しましたので、お知らせ致します。

こちらは、組織活性や人材育成を目的とした研修や対話のファシリテーションを行う場面で、「参加者主体の場をつくること」をテーマとした書籍になります。今回の増刷につきまして、読者の皆様には、心より御礼申し上げます。引き続き、ご愛顧を頂ければ幸甚でございます。

⇒購入はこちら(<http://goo.gl/oGIswc>)

### ■ランキング情報

Amazon 資格・就職・MBA 第1位  
丸善 丸の内本店 ビジネス書 第2位

### ■内容

リンクアンドモチベーショングループでは、人材・組織開発として法人企業を対象に企業研修や各種ワークショップを行っています。著者広江は、その最前線に立ち、研修講師・ファシリテーターとして、年間170日を越える「場づくり」を行っています。その豊富な現場経験から参加者の本質的な意識・行動変革を促し、実際の成果につなげるために、現場の事例や考察、理論を元に、コミュニケーションの成果を高めるステップを独自に5つに分類し、それぞれに合った講師・ファシリテーターのあり方やスキルの高め方を紹介しています。実例ややり方がふんだんに盛り込まれておりますので、誰にとっても理解しやすく、実践しやすい内容となっています。

特に、社内講師をされている方、組織開発に取り組む人事ご担当者、授業改善をしたい学校・教育関係者、プロフェッショナルの研修・セミナー講師、人前でのプレゼンテーション、スピーチ力を向上させたいビジネスパーソン、メンバーの自主性を高めたいと思っているマネジャーの方等、多くの皆様にお読み頂ければ幸いでございます。



## ■書籍概要

出版社:同文館出版

言語:日本語

ISBN-10:4495534211

ISBN-13:978-4495534219

発売日:2016/03/30

価格:本体 1600 円+税

## ■著者:広江朋紀

1976 年東京都生まれ。産業能率大学大学院卒業。

出版社勤務を経て、2002 年に(株)リンクアンドモチベーション入社。同社のコンサルタント(モチベーションエンジニア)としてクライアントの採用、育成、人事制度構築、経営ビジョン策定・浸透プロジェクト推進と、一貫して組織課題の解決に向けたコンサルティング業務に従事。ヒューマンリソース領域における豊富なコンサルティング経験を基に研修講師、組織開発ファシリテーターとして活動中。延べ研修実績、300 社超、受講者 3 万人超、年間稼動 170 日を越える。参加者を本気にさせる、場創りの力に定評があり、顧客リピート率、参加者満足度、同社トップクラス。研修講師・ファシリテーターの養成も行っている。

## お問い合わせ先

### ■報道関係者のお問い合わせ先

株式会社リンクアンドモチベーション グループデザイン本部 広報・秘書ユニット

TEL:03-3538-9517 FAX:03-3538-8672 Email:pr@lmi.ne.jp

株式会社リンクアンドモチベーション <http://www.lmi.ne.jp/>

■代表取締役会長:小笛芳央 ■資本金:13 億 8,061 万円 ■証券コード:2170(東証一部)

■本社:東京都中央区銀座 3-7-3 銀座オーミビル ■Tel:03-3538-8671(代表) ■創業:2000 年 4 月

### ■事業内容:

モチベーションエンジニアリングによる企業変革コンサルティング

モチベーションマネジメント事業(人事・教育支援)

エントリーマネジメント事業(採用・動員支援)

### ■グループ会社:

株式会社リンクグローバルソリューション、株式会社リンク・リレーション・エンジニアリング、

株式会社リンクイベントプロデュース、株式会社リンクコーポレイトコミュニケーションズ、

株式会社リンク・マーケティング、株式会社リンク・アイ、株式会社インタラック、株式会社インタラック北日本、

株式会社インタラック関東北、株式会社インタラック関東中部、株式会社インタラック関東南、

株式会社インタラック関西東海、株式会社インタラック西日本、Interac America Co Ltd.、

株式会社リンクアカデミー、株式会社モチベーションアカデミア、株式会社リンクスポーツエンターテインメント、株式会社リンクダイニング